

事業報告

<研修名>

令和元年度 「協育」ネットワーク連携促進事業 第1回 地域学校協働活動研修会

<開催日時>

令和元年10月4日（金） 10:00～14:30

<会場>

はさま公民館 大研修室

<参加人数>

50名

<研修趣旨>

「協育」ネットワークを基盤とした地域学校協働活動を推進するため、中核となる統括アドバイザー・「協育」コーディネーターを対象に、地域学校協働活動の意義と実践事例を通じた学校との連携について学ぶ場とする。

<研修内容>

【研修1】▼行政説明 「地域学校協働活動の展開に向けて」

説明：県教育庁 社会教育課 課長補佐兼主任社会教育主事 後藤 裕之

コミュニティ・スクール関係法令等の改正内容や役割、『協育』ネットワークの今後の展開等についての説明がありました。

【研修2】▼授業参観 「由布市立挾間小学校 2年 生活科まちたんけん」

地域ボランティアの説明を聞きながら商店街を探検する「由布市立挾間小学校 2年 生活科 まちたんけん」の授業を参観しました。

授業をとおして、子どもたちの学びに向かう表情、教師の動き、ボランティアの熱意ある説明、安全に配慮した地域コーディネーターの言動など、それぞれが連携する姿がうかがえ、“学校”と“地域”とが『協働』する取組みを実際に見ることが出来ました。

また、参観する研修参加者が、児童が立ち寄った店の店主に興味深く質問するなどの場面も見られました。

【研修3】▼全体会

発表 「学校と地域との連携について」

発表者：由布市立挾間小学校 校長 賀來 俊一 氏

「実践事例について」

発表者：地域協育コーディネーター 園田 暁子 氏

地域と学校をつなごうと使命感をもつ『協育』コーディネーターの存在の大きさや地域ボランティアの協力を得ることで子どもたちの学びにつながる学習場面が増えたことなど、これまでの成果についての発表がありました。

学校及び地域ボランティアとの連絡調整、当日の子どもたちの安全の確保等の『協育』コーディネーターとしての“役割”や様々な場面で必要となる“心得”、活動に協力して下さる地域の方々への感謝の気持ちについてなどのお話もされました。参加者からは、「小学校校長と『協育』コーディネーターが共に発表の場に立ったことで、両者の関わりが具体的に見えて参考になった」という声もありました。

グループ協議 「地域と学校が連携・協働した活動へつなげる工夫について」

参観した授業についてのふりかえりも含め、地域と学校との連携・協働へつなげる工夫について活発な意見交換を行いました。

<当日の様子(写真)>

【研修1】▼行政説明

大分県教育庁 社会教育課

課長補佐兼主任社会教育主事

後藤 裕之



【研修2】▼授業参観

「由布市立挾間小学校2年 生活科まちたんけん」



【研修3】▼全体会（発表）

由布市立挾間小学校 校長 賀来 俊一 氏



地域協育コーディネーター 園田 暁子 氏



【研修3】▼全体会（グループ協議）

「地域と学校との連携・協働へつながる工夫について」



<参加者感想>

- 学校と地域との関係づくりがとても大事だと感じた。
- 子どもたちに対する先生（担任）・地域ボランティア・コーディネーターの想いが活動につながっていると感じた。
- 挾間校区の素敵な活動からいろいろと学んだ。
- 授業参観では、コーディネーターや校長先生の工夫が見られた。安全な「まちたんけん」を実践する参考になった。
- 授業参観は、大変大きなヒントをいただいた。古い町並みの写真を探して商店街を歩きたい。
- 実践がわかりやすく示され、自分の地域と置き換えて考えることができた。